

Satsumasendai City Public Relations

薩 広報 内

2

February.2020
vol.368

さつませんだい



限界突破

NATIONAL SPORTS FESTIVAL 2020

Weight Lifting

燃ゆる感動 かがしま国体

第75回国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2020 vol.4

リハーサル大会

昨年から実施している国体のリハーサル大会は、軟式野球、ホッケー、ウエイトリフティングの3競技が終了し、3月に開催される空手道のみとなりました。

各リハーサル大会では、全国からの参加者が国体の開催される競技会場レベルの高い試合を繰り広げました。



中でも日本新記録が更新されるなど白熱した大会となったウエイトリフティングでは、今号の表紙でも迫力ある演技を披露してくれた選手たちの活躍も目覚ましく、本市の下原卓朗選手は男子96kg級で2位になりました。ホッケー大会でも多くの本市出身選手が在籍する樋脇ホッケークラブ(男子代表)、鹿児島クラブ(女子代表)が地元の応援を背に全国の強豪に負けない活躍を見せてくれました。



ボランティアも活躍

リハーサル大会は、運営側のリハーサルでもあり、地元住民の方、国体ボランティアの方、市内の高校生に競技運営補助や受け付け、駐車場整理、環境美化といった大会を支える側として協力していただきました。

地区コミュニティ協議会や地元の飲食店、高校生による地元の食材を使用した郷土料理やお菓子のふるまい、市内の園児、児童、生徒たちが各県のチームを応援するために作成した「応援旗」の掲示などで選手や観戦客をもてなしました。

皆さんもボランティアに参加して選手たちに間近で声援を届けてみませんか。

国体 スポーツフェスタ

12月に国体開催300日前イベントとして、国体スポーツフェスタを開催し、ウエイトリフティングでオリンピック出場経験のある八木かなえ選手をはじめとした全国的に活躍する選手や指導者による本市開催競技ごとのスポーツ教室を行いました。

スポーツ教室は競技経験の少ない子どもたちにとっても競技の魅力に触れるきっかけとなりました。国体では、各競技トップレベルのプレーをぜひ一緒に観戦しましょう。

▲16年リオオリンピック
重量挙げ53kg級6位入賞
八木かなえ選手

薩摩川内市開催競技 ウエイトリフティング



また、子どもたちが、かがしま国体を応援しようと作成した国体応援图画コンクールの表彰式も行われ、100点近い応募作品の中から選ばれた各部門の最優秀賞4人、優秀賞16人が表彰されました。本大会では、応募していただいた全作品を会場に掲示します。

いよいよ国体開催まで残り236日。(2月10日現在)
本市での国体成功に向けて「ワンチーム」となり一緒に国体を盛り上げていきましょう。

小学校下学年の部 最優秀賞作品



里小学校
鮫島 陽香さん

小学校高学年の部 最優秀賞作品



里小学校
大井 咲空さん

中学校の部 最優秀賞作品



祁答院中学校
田原 麻鈴さん

幼児の部 最優秀賞作品



すくすく保育園
かわぐち だいとさん



燃ゆる感動 かがしま国体 ボランティア募集

- 申込期間 / 6月30日(火)まで
- 主な活動内容
 - ・競技会場での受け付け
 - ・会場案内
 - ・ふるまいなどのおもてなし

問合せ / 本庁国体推進課国体企画 G(5425)



▲国体HP





～一人一人が幸せを実感できるまちへ～

編集/「とらいあんぐる」編集員
問合せ/本庁 ひとみらい政策課
ひとみらい政策 G(内線 4741)

男女共同参画フォーラム



11月9日(土)、入来文化ホールで薩摩川内市男女共同参画フォーラムが開催されました。これは、男女が、お互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会、そして、多様な立場を生きる一人一人が出身と居場所のあるコミュニケーションづくりを目指し、さらなる機運を高めることを目的としています。

テーマは、「みんなのための地域コミュニケーション」小さな出会いを紡いで「全国初のコミュニケーションソーシャルワーカー(CSW)」である、勝部麗子氏(大阪府豊中市社会福祉協議会福祉推進室長)を講師に迎え、基調講演が行われました。
*CSW＝高齢者や障害者、子育て中の親などに対し、見守りや課題の発見、相談援助を行う者

第1部 基調講演

演題 「ひとりぼっちをつくらない」



勝部氏は、阪神淡路大震災や、大阪北部地震時の際、身寄りのない方が仮設住宅で孤独死されたことを契機に、誰一人として取り残されないという思いを持って、取り組みを実践されています。
社会福祉協議会だけでなく、地域住民を巻き込んだ大阪府豊中市での取り組み事例を交えな

から、貧困や引きこもり、障害者や高齢者の社会への関わりをつなぐ活動について講演されました。
【講演の概要】
● 社会の問題
● 女性より男性の方が社会的孤立が多い
● サロンなどに来てくれない方をどうやって連れ出すか
● 制度の狭間の人をつくらない
● 一番厳しい人を見捨てる社会は、みんなが見捨てられる社会

- 目指す社会について
- 誰もがSOSを出せる
- 排除するのではなく包摂へ
- 全ての人に居場所と役割を
- 人は必要とされることを必要とする
- 支えられる側から支える側へ
- 諦めない気持ちを持つ
- 全国に先駆けた大阪での取り組み
- CSWの取り組み、大阪府独自の制度で制度の狭間にいる困窮者を支援
- 見守りマップ作り
- 一人も取りこぼさないローライ作戦
- 徘徊SOSメールプロジェクト
- なんでも相談窓口の設置
- 空き家を利用したサロン
- 現役を退いた男性でつくる農園「豊中あぐり」
- 社協内にボランティア部会を設置

第2部 「勝部講師と語る会」

講演を聴いて感じたことや、これから挑戦したいこと、これからできることなどを、参加者全員で共有し、勝部氏にアドバイスをいただきました。



【参加者の感想】
● 初めてお話を聞かせていただき、私も家族のことで悩みましたが、今回の講演で一度向き合ってみようと思いました。
● 感動しました！自分に何ができるのか探してみます。
● 心に栄養をもらいました。
● 地域コミュニティの大切さを再確認できました。
● 勝部講師の熱量が伝わってきました。圧倒されました。

同時開催 絵本づくりワークショップ

人権啓発トレーナー・ワークショップデザイナーの高崎恵氏を講師に、小学生対象の絵本づくりワークショップを開催しました。
絵本作りを通して、お互いの考え方を共感したり、相手への伝え方を学びました。



- ① ネーム作り
利き手と反対の手で自分の名前を書く作業。初めてのことは誰でも戸惑い、不安に思う気持ちがあることを体験しました。
- ② グループ分け
色の違うシールを背中に貼り、しゃべらないというルールのもと、自分たちで考えグループ分けを行いました。話せなくてもコミュニケーションを取る方法は他にもあることを体験しました。
- ③ 絵本作り
さまざまな形、色、素材の材料を自由に使って一人一人思いの込められた、この世にたった一つだけの絵本をつくる体験をしました。子どもたちの瞳はキラキラ。みんなで発表会をして、それぞれの思いを共感できました。

パープルリボン啓発活動



ダイバーシティ研究会手作りパープルリボンを、男女共同参画フォーラムの参加者に配布しました。

国際ソロプチミスト鹿児島一川内のメンバーが市内スーパーでDVについて呼び掛けを行い、パープルリボンをツリーに結んでもらいました。

11月12日～25日まで、女性に対する暴力をなくす運動週間でした。
今年度、内閣府が制作したドメスティック・バイオレンス(DV)と児童虐待をテーマとしたポスターでは、「DVは、パートナーだけではなく、子どもの心も壊すもの」と大きく掲げ、「DV被害に悩む方を見掛けたら相談先を教える。DV被害に悩む方は、我慢しないでまずは相談を」としています。
今年も、国際ソロプチミスト鹿児島一川内やチャレンジ委員会の任期満了メンバーで結成されたダイバーシティ研究会が、市内でパープルリボンを使った啓発活動を行いました。

まちづくり塾 in 下甕島



7月3日と8月3日に長浜地区コミュニティセンターでまちづくり塾を開催しました。薩摩川内市男女共同参画基礎講座として、多様な人たちが生き生きと暮らすまちづくりについて地域の方を中心に学ぶことを目的としています。
地区コミュニティ協議会会長をはじめ、地域の方々が多数参加してくださいました。

【参加者の感想】
● 男女共同参画の考え方をコミュニティ活動に活かしたいと思います。
● 表現は難しいですが、「ああ、そうだったのか」と思い出すこともあり良かったです。
● 初めての参加でしたが、考えなどいろいろな勉強になりました。



「わたしは あかねこ。しろねこかあさんと ころねことうさんから うまれたの・・・」
「とうさん、かあさん、きょうだいたちとせんせんにてないけのいるけれど、わたしはこのいるきれいでかわいくってすきだったの。でも・・・」
「みんなちがって、みんないい。すきなものは人それぞれだもの。」
あかねこの気持ち、ずんずんに響く作品です。